

1 社会・治安情勢

(1) テロ情勢等

ザンビアにおいては、テロ組織・反政府組織や国際的なテロ組織の関連組織による活動は確認されていない。しかしながら、周辺国（モザンビーク、ソマリア等）のテロ組織がザンビアに浸透してくる可能性について、治安当局は警戒を強化している。現在のところザンビアにおけるテロの脅威は高くなく、また、日本人が標的にされる可能性も高くはない。

(2) 一般治安・犯罪状況等

昨年から世界的に続く新型コロナウイルス感染症の拡大はザンビアにも影響を及ぼしているが、ザンビアはロックダウンを実施することなく、経済社会活動を継続している。右影響は国民生活にも及んでいるものの、現在のところ、右が大きく治安情勢に影響していることは確認されない。

(3) 社会情勢

8月に行われた大統領・総選挙に関し、各政党による選挙活動期間中及び投票日に、ザンビア全土において政党間抗争や治安当局との衝突が散発的に発生し、複数の政党関係者等が死亡ないし負傷した。一方、同選挙の結果、平和裏に政権交代が行われた。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 邦人がよく利用するショッピングモール等においても窃盗、置き引き、ひったくり、スリ等の一般犯罪や車上荒らし等が発生している。

(2) 邦人被害事案

当該事件の発生は認知していない。

(3) 邦人以外の被害事案

ア 11月15日深夜3時から4時にかけて、ルサカ州チャララ（Chalala）において、20歳代のザンビア人女性宅にナイフを持った男4名が侵入し、テレビ、携帯、カーペットなどを奪うとともに、女性はレイプ被害に遭った。犯人4名は既に逮捕・拘留されている。

イ 11月21日午後、ルサカ州マテロ（Matero）において、インド人が会社の現金を持って車を運転し自宅に向かっていたところ、武装した犯人3名の襲撃に遭い現金を奪われる被害に遭った。犯人は被害者の自宅付近で銃撃を行うなどして車を停車させ、現金K1, 000, 000を奪って車で逃走した。被害者は犯人の車両番号を警

察に報告し、その後犯人は警察によって逮捕されている。

ウ 12月23日深夜1時頃、コッパーベルト州キトエ（Kitwe）において、インド人宅に銃を持った犯人が侵入し、現金K9, 000を奪い逃走した。銃撃により、インド人1名が死亡し、もう1名が重傷となっている。犯人は以前捕まっていない。

3 テロ・爆弾事件発生状況

当該事件の発生は認知していない。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

当該事件の発生は認知していない。

5 日本企業の安全に関する諸問題

問題とされる情報に接していない。